

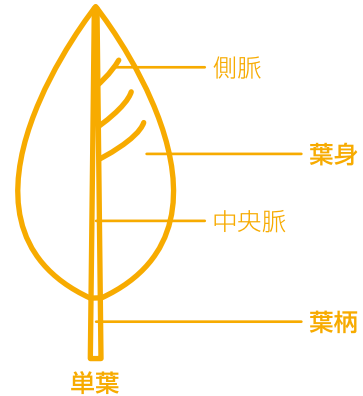
Leaf Shape

■ プルメリアの葉の形態と葉序

植物の説明などをする時に部位の呼び方がわからなく説明に困る時があります。覚えておくと便利な用語とプルメリアの葉の形態について学んでみましょう。

■葉の構成

葉は普通葉緑体を含む**葉身(ようしん)**といわれる部分と、葉身と茎枝をつなぐ**葉柄(ようへい)**から成り立っています。葉身には通常太い中央脈(主脈ともいいます)と細い側脈があります。葉は、葉身が一つの単葉と、複数の葉身(小葉という)から構成される複葉とに大別されます。



Leaf of **Plumeria rubra**

広披針形(こうひしんけい)で葉先が尖っている鋭頭形。



Leaf of **Plumeria obtusa**

付け根の方が細く中央より上が幅広の倒披針形(とうひしんけい)葉先は丸く円頭形。



Leaf of **Plumeria pudica**

プディカは特徴的なへら形をしています。葉先は鋭頭形。

■互生と対生

茎に対して「葉がどのように付いているか」を表しています。

互生:互い違いに付く。

対生:同じ場所に付く。

プルメリアの葉の付き方は互生です。

3枚以上の葉が同じ場所に付く場合は輪生といえます。

葉の付け根部分を**葉腋(ようえき)**と呼びます。

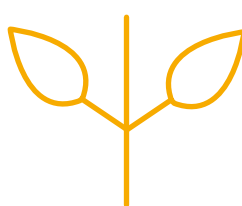


alternate phyllotaxis

プルメリアの葉の付き方(互生)



互生



対生

